

東京都 スポーツ推進委員だより

第117号

(一社)東京都スポーツ推進委員協議会

2019年3月31日

編集：情報委員会

社員総会



平成31年度事業方針・事業計画概要

【方針】

オリンピック・パラリンピック開幕まで500日となった3月12日の読売新聞に、「スポーツの力」という特集記事がありました。その中では、スポーツの力を「老化の気配が気になる高齢者には、自分が「できる」という手ごたえが励みになる。メタボ寸前の働く世代なら、体と心が変わるのを感じれば自分がちょっと誇らしくなる。子どもたちにとっては、憧れが夢や目標ともなる。それは心が前を向くスポーツ（運動）の力」と表現し、東北大学医学部の永富良一教授（運動学）の「スポーツの心への影響は、健康の観点だけでは語れない。それは価値のごく一部です。例えば人とつながり、自分の役割を見つけ、生きていくことの楽しみを感じる、それが『遊び』を語源とするスポーツの本質です」との指摘も紹介しています。また、オリンピックの室伏広治氏は、「スポーツは選手だけのものではない。自分に合うやり方で体を動かせばいいのです。乗り越え達成したときの充実感や、変わるのだという手応えは何にも代えがたい喜びです。それは自分でしか味わえない。」と述べています。

スポーツ庁は、東京2020大会まで2年となった昨年9月、スポーツ実施率向上のための行動計画～「スポーツ・イン・ライフ」を目指して～を発表しました。この計画は、一人でも多くの方がスポーツに親しむ社会の実現を目的とし、生活の中に自然とスポーツが取り込まれている「スポーツ・イン・ライフ」（生活の中にスポーツを）という姿を目指したものとなっています。3つの観点（1：施策の対象、2：施策の段階、3：施策に取り組むべき主体）から、取り組むべき60の施策が取りまとめられており、私たちスポーツ推進委員については、施策「⑩スポーツに関する人材の一層の活用を図る」の中に「国、地方自治体、全国スポーツ推進委員連合が連携し、総合型地域スポーツクラブやスポーツ団体等との連携・協働を促進することができるよう、スポーツ推進委員の活用を促進するとともに、その資質向上を図る。」と記されています。

また、東京都スポーツ推進総合計画（平成30年3月）には、スポーツ推進委員は各区市町村のスポーツ振興の重要な担い手として位置づけられており、地域のスポーツ環境の整備、地域のスポーツのニーズに的確に答えるスポーツ推進委員のあり方等について広く見識を深めるため、スポーツ推進委員研修会を実施してい

くとされています。

東京都の直近のスポーツ実施率は、57.2%という結果となりました。前回調査より約1%向上したものの、目標とする70%には程遠い状況です。私たちはこれまで様々な勉強をし、実践もしてきました。しかし、結果に表れていないのが現状です。スポーツの力を活かし、より多くの人が生きていることの楽しみや達成感を感じられるよう、私たちは引き続き資質の向上に努めていく必要があります。

こうした状況を踏まえ、本年度の事業は次のとおりとします。

【会議】

1. 社員総会
 - 第1回 5月18日(土) 文京区区民センター
文京シビックセンター
 - 第2回 9月25日(水) 武蔵野公会堂
 - 第3回 12月11日(水) 場所未定
情報交換会あり
 - 第4回 3月25日(水) 武蔵野公会堂
 - 臨時総会 7月17日(水)
2. 理事会 4月10日、5月8日、6月12日、
7月10日、9月11日、10月9日、
11月6日、1月8日、2月12日、
3月11日
3. 各委員会（女性委員会を含む） 随時開催
4. 会長会 6月16日(日) 江東区文化センター
5. 監事監査 5月
6. 表彰審査会 4月：関東大会功績者及び
都スポ協功労者
5月：全国大会功労者等
都スポ協事務所
7. その他 特別委員会は必要に応じ随時開催

【事業】

1. 東京都共催事業(予定)
 - (1) 広域地区別研修会
 - ・広域地区別研修会開催地区

地区別	担当地区	期 日	会 場
1B	港区	7月 6日(土)	港区スポーツセンター
2B	北区	9月 7日(土)	滝野川会館
3B	品川区	8月31日(土)	品川区中小企業センター
4B	中野区	10月5日(土)	なかのZERO 西館小ホール
5B	墨田区	9月28日(土)	すみだリバーサイドホール
6B	稲城市	9月14日(土)	稲城市中央公園総合体育館
7B	檜原村	9月 7日(土)	檜原村立檜原小学区体育館
8B	東大和市	7月27日(土)	東大和市市民会館ハジメホール
9B	武蔵野市	9月 7日(土)	武蔵野スイングホール
10B	東村山市	11月30日(土)	東村山市民 スポーツセンター
11B	大島町・ 利島村	11月29日(金)	未定

(2) 課題別研修会

研 修 会 名	期 日	会 場
総合型スポーツクラブ	11月	未定

(3) 地域スポーツ支援研修会

研 修 会 名	期 日	会 場
地域スポーツ支援研修会 (区部)	1月25日(土)	港区男女参画センター 『リーブラ』
地域スポーツ支援研修会 (市町村部)	2月8日(土)	立川市女性総合センター 『アイム』
地域スポーツ支援研修会 (全域)	未定	未定

(4) 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会

回 数	期 日	会 場
第1回	7/20(日)	くにたち市民総合体育館
第2回	8/3(土)	くにたち市民総合体育館
第3回	8/4(日)	くにたち市民総合体育館
第4回	8/17(土)	くにたち市民総合体育館
第5回	8/18(日)	くにたち市民総合体育館

(5) 中級障がい者スポーツ指導員養成講習会

回 数	期 日	会 場
第1回	10/19(土)	武蔵野総合体育館
第2回	10/20(日)	武蔵野総合体育館
第3回	10/26(土)	武蔵野総合体育館
第4回	11/3(日)	新宿スポーツセンター
第5回	11/4(月・祝)	新宿コズミック スポーツセンター

第6回	1/11(土)	東京都障害者総合スポーツセンター
第7回	1/12(日)	東京都障害者総合スポーツセンター
第8回	1/18(土)	品川総合体育館
第9回	1/19(日)	品川総合体育館

2. 自主事業

(1) 研修事業

研 修 会 名	期 日	会 場
初任者講習会	随時【平日夜】	未定
ニュースポーツ	6月	ヤマトフォーラム ム体育館
交流ポッチャ大会	7月15日(月・祝)	千代田区体育館
実務研修会	9月	新宿スポーツセ ンター
女性委員会企画研修会	12月7日(土)	未定

(2) 東京都スポーツ推進委員だより及びホームページの配信

(3) 調査研究・資料収集

(4) 顕彰(スポーツ推進委員功労者の表彰)

- ① (一社)東京都スポーツ推進委員協議会の表彰
(功労者、感謝状、特別表彰)
- ② (公社)全国スポーツ推進委員連合の
被表彰候補者の推薦(団体と個人)
- ③ 関東スポーツ推進委員協議会の被表彰候補者の
推薦

3. 派遣事業

- (1) 関東スポーツ推進委員研究大会
6月 7日(金)～8日(土)
埼玉県大宮ソニックシティほか
- (2) 第60回全国スポーツ推進委員研究協議会
11月14日(木)～15日(金)
三重県津市
- (3) 生涯スポーツ・体力づくり全国会議 2020
2020年2月7日(金)(島根県)
- (4) スポーツ推進委員リーダー養成講習会
開催会場・期日未定

【協力事業】

1. 東京都(予定)

- ① 東京都生涯スポーツ担当者研修会
開催場所・期日未定
- ② 障害者スポーツセミナー
2020年3月7日(土)
渋谷区大和田スポーツセンター

2. 第58回1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭
7月28日(日)
駒沢オリンピック公園総合運動場

3. 新宿シティハーフマラソン

2020年1月26日(日)

4. 東京マラソン

2020年3月1日(日)

5. (公社)全国スポーツ推進委員連合

- (1) 機関誌「みんなのスポーツ」の購読促進
- (2) 「スポーツ推進委員手帳」「スポーツ推進委員ハンドブック」の普及推進
- (3) シンボルマークのグッズの普及推進
(ジャンパー・ポロシャツ・バッジ・ペンダント・ネクタイ・タイピン・ピンブローチなど)

(4) 賛助会員としての協力促進

(5) その他関連事項等

【その他】

1. (公社)全国スポーツ推進委員連合理事会・総会
2019年6月6日(木)
2. 関東スポーツ推進委員協議会理事会
2019年6月7日(金)
関東スポーツ推進委員協議会理事会
2020年2月

(平成30年度第4回社員総会決定)

社員総会



平成30年度 第4回社員総会

3月27日(水)午後6時30分から武蔵野公会堂会議室で一般社団法人東京都スポーツ推進委員協議会平成30年度第4回社員総会が開催されました。

新島二三彦会長の挨拶の後、東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部地域スポーツ振興担当課長 井内雅妃様からは、3月3日に行われた東京マラソンでのボランティア協力に対する御礼のお言葉をいただきました。また、スポーツ実施率を高めるための取り組みのひとつとして、日頃の日常生活の中で気軽に楽しめるスポーツの紹介等を掲載した冊子についてご紹介いただきました。

続いて、東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部調整課課長代理 松下典子様、同じく小坂田みゆ様両名からご挨拶がありました。

定足数は、出席37名、委任状6名、合計43名で正会員の過半数を満たすことが宣言され、定款に基づき新島会長が議長となり議事に入りました。

<議 事>

1. 報告事項

- 1) 理事会報告(第8回:1月9日)(第9回:2月13日)(第10回:3月13日)
- 2) 各委員会報告(企画総務・研修・情報・女性)
- 3) 財務報告(会費・賛助金他)
- 4) 研修会報告書について
- 5) 地域スポーツ支援研修会について
 - ◆区部(1月26日(土)) ◆市町村部(2月9日(土))
 - ◆全域(2月16日(土)17日(日))
- 6) 生涯スポーツ・体力づくり全国会議2019徳島(2月1日(金)~2日(土))

7) 平成30年度関東スポーツ推進委員協議会第2回理事会(2月22日(金))

8) 東京マラソン2019年3月3日(日)

9) リーダー養成講習会 国立オリンピック記念青少年総合センター(3月9日・10日)

10) リーダー委員会活動報告

11) その他

2. 協議事項

- 1) 平成31年度事業計画(案)について
- 2) 平成31年度予算(案)について
- 3) 会費見直しについて
- 4) その他

3. その他

- 1) みんなのスポーツ・スポーツ推進委員手帳等の購入について
- 2) 総会・会長会・研修等の会場確保について



記事・写真 本下 文洋 情報委員会(西東京市)

研修会



地域スポーツ支援研修会(区部)

1月26日(土)港区男女平等参画センター『リーブラ』で地域スポーツ支援研修会が行われました。東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部地域スポーツ振興担当課長 井内雅妃様の挨拶と

都スポ協 新島二三彦会長の挨拶の後、「地域におけるスポーツ事故防止」をテーマに研修会を行いました。参加者は152名でした。

講師のスポーツ創造政策研究所代表 鈴木知幸先生か

らは「地域におけるスポーツ事故防止～事故判例から学ぶ～」というテーマで講義が行われました。鈴木先生からはスポーツ事故とその具体的な判例から指導者の責任について話されました。事故を起こした子供の年齢によってその責任能力が大きく変わり、また指導者の監督義務も大きく変わるという事でした。また地域スポーツの事故判例や野外活動等でのボランティアの法的責任についても話されました。そして近年話題になることが多いスポーツ指導者の体罰やセクハラの問題についても話されました。



様々な判例を聞くにあたりスポーツ推進委員として責任の重さを痛感した講義でした。

後半のトークセッションでは「地域におけるスポーツ事故防止の現状と課題」というテーマで、港区の伊藤洋氏、北区の府川幸弘氏、品川区の鈴木幸光氏、中野区の吉田典正氏、墨田区の荒川幸夫氏によって各地域でのスポーツ事故防止対策についてお聞きしました。



記事 平野 秀夫 情報委員会(江戸川区)
写真 加来 剛 情報委員会(豊島区)

研修会

地域スポーツ支援研修会(市町村部)

2月9日(土)立川市女性総合センターで地域スポーツ支援研修会(市町村部)が行われました。東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部地域スポーツ振興担当課長 井内雅妃様の挨拶と都スポ協新島二三彦会長の挨拶の後、「地域におけるスポーツ事故防止」をテーマに研修会を行いました。参加者は184名でした。

講師のスポーツ創造政策研究所代表 鈴木知幸氏からは「地域におけるスポーツの事故防止～事故判例から学ぶ～」というテーマで講義が行われました。なお、2週間前に開かれた地域スポーツ支援研修会(区部)と講義内容と講師が同じでした。これまでの事故判例を示しながら「スポーツ事故因と指導責任」を、具体的に話していただきました。

「指導者の不注意や過失による事故と指導責任」と「不可抗力による事故」「他人への加害行為による事故」「施設・設備の瑕疵による事故」を区別していくべきである。「落雷事故は、災害ではない」「ボランティアの法的責任」等、推進委員として学ぶべきことがたくさんありました。

後半のトークセッションでは、鈴木氏の講演をふまえながら「地域におけるスポーツの事故防止の現状と課題」のテーマで、稲城市の鷹野洋子氏、檜原村の芦川雅一氏、東大和市の笠松文字子氏、武蔵野市の櫻井昭氏の方々から事故防止の取組みをお聞きしました。



記事・写真 島貫 金雄 情報委員会(国分寺市)

研修会

地域スポーツ支援研修会(全域)

2月17日(日)東京都多摩障害者スポーツセンターで、地域スポーツ支援研修会(全域③④)が開催され、参加者は午前の部③は33名、午後の部④は29名で

した。まず初めに東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部調整課課長代理 小坂田みゆ様と新島二三彦会長の挨拶により研修が始まりました。

③は講師として公益社団法人東京都障害者スポーツ協会 地域スポーツ振興課 藤田勝敏課長ほか協会の皆様により、実技研修としてノルディックウォーキング、フライングディスク、卓球バレーを行いました。

ノルディックウォーキングでは通常のウォーキングの他、視覚障害者の体験として、車いすウォーキングや指導者と前後に並びウォーキングのポールを介して後方の指導者の指示で歩く体験も行いました。



フライングディスクでは利き手でないほうの手で投げたり、視覚障害者の体験として拍手の音のする方向にディスクを投げる事も体験しました。

卓球バレーは転がすと音の出る球を、通常の卓球台にネットの下に隙間を空けて、相手側に長方形の板のラケットで球を返す競技ですが、ペットボトルなど様々な用具をラケットとして使うことも行いました。

この講義では既存のルールにとらわれず、ルールに柔軟性をもたせ、用具も工夫することにより、どこでも誰でもスポーツを楽しめる事を学びました。

午後からの④の研修では前述の藤田課長による講義と午前と同じスタッフによる実技を行いました。

講義では「障害概論及び障害がある方々のスポーツ」というテーマで障害の分類とそれぞれの障害の特徴や障害を持っている人への対応方法などを学びました。身体的障害には外見では分からない内部障害を持っている人、知的障害者や精神障害者への対応方法など大いに参考になりました。

実技では卓球とバドミントンを障害者の立場に成っての体験と障害者を指導する時の注意点などを学びました。

卓球では障害のある人の立場で椅子に座ってのプレー、バドミントンでは車いすに乗ってのプレーも体験しました。指導者側は相手の打ちやすい所にボールを返してやる事が大切である事を学びました。



記事・写真 小久保佳昭 情報委員会（八王子市）

研修会

生涯スポーツ・体力づくり全国大会 2019

生涯スポーツ・体力づくり全国会議2019が2月1日（金）、徳島県徳島市において開催されました。その趣旨は、スポーツ立国の実現に向けて、スポーツに関連する多様な人々が一堂に会し、研究協議や意見交換を行い、今後のスポーツ推進方策について検討するというものです。会議は、午前に表彰式と全体会、午後には4つの分科会が行われました。

1. 表彰式（平成30年度体力づくり優秀組織表彰）今年度は、各都道府県教育委員会等から推薦された10組織（文部科学大臣賞3組織、体力づくり全国

会議議長賞7組織）が表彰されました。

2. 全体会（トークセッション）

テーマ：スポーツ・イン・ライフを目指して ～今、私たちにできること～

今回は、ファシリテーターに高山大吾氏（NHK徳島放送アナウンサー）、スピーカーに鈴木大地氏（スポーツ庁長官）、武井正子氏（順天堂大学名誉教授）、中野智紀氏（北葛北部医師会在宅医療連携拠点菜のはな室長、社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス東埼玉総合病院糖尿病代謝内分泌科・地域糖尿病セン

ターセンター長)、源純夏氏(徳島ライフセービングクラブ代表、シドニー五輪銅メダリスト)の4名を迎え、高山氏が各スピーカーに質問しながら展開していくという、トークセッション形式で行われました。

〈各スピーカーの発言要旨〉

鈴木氏：国はスポーツ実施率65%（都は70%）を目指している。イギリスではガーデニングも立ち座りがあることなどからスポーツと捉えられている。65%はハードル高いがアイデア次第で可能である。実施率向上には末就学児にもっと力を入れる必要がある。1日8千歩を目標にスニーカーを履いて仕事に行こう。スーツでスニーカーを履くときは、ズボンは細身で足首が出るくらいのちょっと短めがカッコよい。

武井氏：女性の実施率を上げるには、もっと気楽に体験できるようにすることが必要。子どもの発育・発達には幼児から小学校低学年くらいまでの運動体験が重要となる。自分にとって楽なもの、楽しいもの、自分の体の動きに気づくことが重要。

中野氏：定期的に歩くことで血糖値を下げやすい体づくりになる。糖尿病予防にもなる。遊びをスポーツに取り入れるには仲間が必要。仲間がいれば子どもは遊びを作っていく。それは社会活動そのものすごく大事。安全に配慮して子どもに任せる。スポーツは共感を得やすい。コミュニティとは共感すること。楽しいこと、できることを複数持っていることが大事。

源氏：スポーツはいろいろな感情を呼び起こすもの。子どものころは、お出かけは家族で自転車だった。買い物には歩いて行った。生活の中にスポーツを取り入れることが大事。徳島には施設はないが自然がある、阿波踊りがある。女性のスニーカーについては会議などの主催者がOKと言ってもらえれば履きやすくなる。スポーツにはお洒落も必要だ。

3. 分科会（第3分科会）

テーマ：誰でも参画できる地域スポーツと豊かなスポーツライフを目指して～スポーツによる共生社会を目指すスポーツ推進委員の役割～

コーディネーター：行實鉄平氏（久留米大学人間健康学部准教授）

パネリスト：①佐藤和子氏（NPO 法人うだつコミュニティスポーツクラブ）、②長尾香織氏（NPO 法人みわスポーツクラブ）、③奥田睦子氏（京都産業大学現代社会学部健康スポーツ社会学科教授）

佐藤氏：クラブの設立経過と活動状況、成果の紹介。

- ・ 協町地区ではスポ推がクラブ運営に中心的な役割。

- ・ スポ推一丸となって続けてきたクラブは、市民に欠くことのできない場所となった。

長尾氏：クラブの活動状況を説明

- ・ スポ推はクラブとは離れている。指導者をほしいが周りにいない。スポ推の意識が低い。

奥田氏：地域スポーツを通じて共生社会を拓くために「スポーツ推進委員」に求められるものとして次の点を挙げられた。

- ・ 人と人を結んだり、組織と組織を結んだりする「橋」の役割
- ・ 「橋」をかけるために、「分離されている」人や組織のイメージをもつこと
- ・ 「橋」となってくれそうな人を探すこと
- ・ 総合型地域スポーツクラブの扉が閉まっていないかよく見ている（閉まっていたら開ける）
- ・ 精神障害者のスポーツの普及に向けては、医療機関や精神保健福祉機関、スポーツ関係団体等が連携・協同して取り組むことが特に重要である。
- ・ 各地域の実践の場において、行政、学校、スポーツ団体障害者福祉団体、企業等、障害者スポーツに携わる組織間を連絡調整する役割を担う「障害者スポーツコーディネーター（仮称）」のような人材が必要である。

■分科会のまとめ

行實氏が次の3点を挙げ、分科会のまとめとされました。

- ・ スポ推には公助・共助が期待される。
- ・ スポーツで共創できないか。
- ・ 住民の力をうまく引き出ししていく、障がい者もスタッフになれる、そうしたコーディネート力が必要である。



記事・写真：会長 新島 二三彦

研修会



障害者スポーツフォーラム

2月23日(土)13時から明治大学中野キャンパスにおいて開催された「障害者スポーツフォーラム」は、障害のある人も様々なかたちでスポーツに取り組まれていることをトークセッション形式で話す第1部のシンポジウムが「多様なスポーツの楽しみ方と支え方」と題しゲストの平澤奈古・藤川太郎・葎原滋男氏の3名とNHK福岡放送局アナウンサー永井伸一氏を進行役として行われました。

2004年アテネパラリンピックアーチェリー個人銅メダリストの平澤氏は、生まれながらの障害であったためスポーツとは無縁な子供時代だったが、ひょんなことから始めたアーチェリーは障害者・健常者が同じルールで行うのでお互いに得るものが多いとのことでした。また、1996年アトランタパラリンピック走高跳銅メダル・2000年シドニーパラリンピック自転車金メダルを取りブラインドサッカー・障害者サーフィン世界選手権出場という多彩な活動をなさっている葎原氏は、以前障害者スポーツは障害者同士で行っていたが、健常者のパートナーと接するようになり、コンビネーションのむずかしさと相手の状況をいかに読むかのむずかしさを感じているそうです。藤川氏は日本ろうあ者卓球協会の理事長で、聴覚障害の人はコミュニケーションが取れない人が多いので積極的に声を掛けてほしいとのことでした。



外国へ遠征すると、言語が通じないことが当たり前なので積極的に声をかけてくる人が多く、日本と外国での差を感じるとのこと、「我々障害者は声を掛けてくれることが大変ありがたい」とゲスト全員が同じ思いをしているとのことでした。東京オリンピック・パラリンピック開催が決定してからサポートが厚くなってきたが、ハード面で足りないところがまだある。足りないところは人の力で補えるので、健常者の方々もとりあえずスポーツをやってみたり、声かけを行ってほしいとのことでした。

第2部分科会は、「障害者スポーツを取り巻く様々な分野と関わり方」をテーマに①スポーツ事業の立役者②地域スポーツ事業の場③スポーツと福祉関係者④学校におけるスポーツ⑤医療におけるスポーツ⑥企業によるスポーツ支援の6分科会が行われ、身近な地域で障害者スポーツを支える様々な立場の方を講師として各分科会で役割や取組、スポーツへの関わり方について話し合われました。

第3部は「ステップバイステップ!スポーツがつなぐキズナ」の上映が行われ終了しました。



記事 情報委員会 加来 剛(豊島区)
写真 主催者提供

東京マラソン

東京マラソン2019

3月3日(日)に「第13回東京マラソン2019」が開催され、スタートの東京都庁から、3万8000人のランナーが、フィニッシュの東京駅を目指しました。

開催日を、今年の新天皇の即位に伴い、例年の2月最終日曜日から、3月第一日曜日に変更されて、初めての開催となった今年の大会は、東京オリンピックマラソン代表を決める「MGC」(マラソングランドチャンピオンシップ)シリーズに位置付けられ、例年以上に白熱したトップアスリートのレースが展開されました。さらに、今大会参加募集定員が2000人増えた一般ランナー達が、様々な楽しみ方で激走して、首都東京を舞台に行われる日本最大のマラソン大会に花を添えました。

当日は予報よりも早く雨が降り出し、レース中も止むことがない小雨のため、肌寒さを感じる悪天候にもかかわらず、沿道の多くの歓声がランナーを後押ししました。特に終盤では冷え込みが厳しくなる悪条件下で、例年以上に無念のリタイアとなってしまう参加者が多く出ました。

今年も、東京都スポーツ推進委員協議会として、44地区から選出された、リーダー7名・メンバー88名、合計95名のボランティアスタッフを派遣して、新宿・飯田橋、神田・日本橋、両国、清澄・門仲仲町、銀座・有楽町、日比谷・丸の内、芝・高輪の7ブロックのコース整理に従事しました。

いよいよ東京2020の前年となった今年、オリンピ

ック・パラリンピックの成功への道筋となった大会でした。



記事・写真 田辺 浩一郎 情報委員会(渋谷区)

各地区の情報



情報ひろば

【中野区】

中野区におけるフラッグフットボールの取り組み
中野区のフラッグフットボール導入のきっかけは、2013年に開催された第68回国民体育大会のデモンストレーション種目として、中野区で大会を開催したことでした。

フラッグフットボールは、チームのみんなで作戦を考え協力し合って得点を競うスポーツです。ルールも安全面が考慮されていて、スポーツの苦手な子どもでも遊び感覚で体力増進や協調性が自然に養われる、とても良いスポーツです。以来、区内の小・中学校の体育の授業にも組み入れられ大きな成果を上げています。その成果を発揮する行事として、毎年2回12月と3月に大会を開催しています。

平成30年度も12月15日に中野区教育委員会主催の大会が、小学生の部は新井小学校校庭で、中学生の部は妙正寺川公園運動広場にて開催されました。小学生の部は185名、中学生の部は99名の生徒が参加しました。指導に当たられた先生方や父兄の皆さんの大きな声援の下、生徒たちは生き生きとプレーしました。

当日は30名のスポーツ推進委員がそれぞれの会場で先生方と協力をして運営支援をしました。私もスポーツ推進委員として、審判や運営の支援を通じ、生徒たちの楽しそうにスポーツに親しんでいる姿を間近で接することができてとてもうれしく感動しました。

3月には中野区スポーツ推進委員会主催の大会も開催されました。

こうしたスポーツを体験し、生涯を通じてスポーツを愛し、心身とも健全に成長してくれることを願っています。



中野区スポーツ推進委員 鈴木清人

【豊島区】

豊島区では今年度から3名の区内大学生(大学院生)の方々を加え、H31年3月現在24名のスポーツ推進委員が活動しています。

シニア向けの事業はもちろん、2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成イベントなど、行政と共にスポーツ実施率向上に向けた事業を展開しています。

これまで続けてきた区民ウォーキング、ハイキング、ニュースポーツの実施、区民ひろば、障がい者施設での運動指導、何といたっても体育の日に行われるスポーツまつりの運営など、それぞれが担当となり協力し合

って活動中です。



コーディネーターとしての役目を担う私たちは、少しでも活動に活かせるような研修も受けながら、スポーツの力で区民の皆さんが健康的な生活をおくれるように、活動の場を増やしていきたいと思っています。

運動施設の少ない豊島区ですが、日々の生活の中でも意識して体を動かすことによって、健康増進に繋がることを区民の皆さんに伝えていきたいです。

豊島区スポーツ推進委員協議会 松田文子

【東大和市】

東大和市スポーツ推進委員は、長年委員を続けているベテラン委員が多い中、昨年新委員を迎え15名で活動しています。

事業に参加する方があまり増えない、若い年代の参加が少ないなどの課題もありますが、毎月の定例会で議論を重ね忌憚なく意見を言える雰囲気の中、これからも楽しく活動をしていきたいと思っています。

毎年恒例となっている事業としては、体力測定・ニュースポーツで遊ぼう・グラウンドゴルフ大会などがあります。体力測定は毎年ここで測定するのを待ち望んでくださる方もいます。ニュースポーツでは普段触れることのない新しい競技を取り入れたり、自分たちでアレンジしたりして楽しんでいます。



東大和市スポーツ推進委員協議会 石川 美穂子

また、東大和市主催のロードレース大会・ふれあい市民運動会・多摩湖駅伝大会といった地域のスポーツ大会のお手伝いなどもやっています。

数年前からは障害者支援事業に力を入れ、ポッチャの体験会・市民大会・バドミントン大会・健常者と障害者の支援グループとの合同でのレクリエーション大会などを行っています。ポッチャでは、投げるのが難しい方でも参加できるようにランプと呼ばれる道具も本格的な大会となっており、参加する方も年々上達しているように感じられます。

編集後記

昨年9月、新任で情報委員会に配属され初仕事がこの117号の編集でした。まだまだわからないことが多いですが、「東京都スポーツ推進委員だより」はスポーツ推進委員の皆様の日々の活動と研修会などの資料を掲載しておりますので、地元での活動に役立てていただければ幸いです。

編集 情報委員会 加来 剛 (豊島区)

#####